

「第6次蘭越町総合計画 後期基本計画」に関するパブリックコメントの実施結果について

実施計画	第6次蘭越町総合計画後期基本計画（案）
募集期間	令和7年2月3日（月）～2月17日（月）
担 当	蘭越町総務課企画防災対策室まちづくり推進係
意見提出者	個人2名

○第6次蘭越町総合計画後期基本計画（案）に対する意見の概要と町の回答

該当ページ等	意見の概要	町の回答
1 全体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幽泉閣に観光客が押し寄せ、地元民の憩いの場の居心地が悪くなっている。ニセコエリアの他の日帰り温泉の値段設定と合わせ、金額を上げることで集中を防げるのではないか。 ・ 回数券、定期券の値段設定はそのまま、道民のみ購入が可能にする。窓口でのID確認業務を減らせるのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 値段設定等の変更は、条例等に関わってくる内容でもあるため、具体的な取組の中で検討します。
実施要項について	<ul style="list-style-type: none"> ・ コメントの募集期間が2週間である。意見を出す側としては、もう少し長くしてほしい。ひと月程度は欲しい。 ・ 提出する意見が計画案のどの部分にあたるか該当箇所（ページ数等）を明記するようになっている。この通りにしなければ意見を受け取ってもらえないのだろうか。計画案全体に関する意見というのもあり得るのではないか。その場合は”すべてのページ”とでも書けばよいのだろうか。 ・ このパブリックコメントは賛否を問うものではないと記されている。しかし賛成意見、反対意見も根拠を示せば立派な意見ではないか。賛否を問うものではない理由を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見として頂戴致しましたので、今後実施する際は実施期間を延ばします。 ・ 計画案のページ数が多いため、ページ数を書いていただくと助かります。計画案全体の意見等を受け付けないということではありません。
表紙 基本構想第2章 (1ページと20ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙と基本構想第2章まちの将来像の項に、「奥ニセコの緑と穏和と自立のまち”蘭越”」というスローガンが掲げられている。最近「奥ニセコ」という地名が、観光や町づくりに関連して様々なところで使われているが、造語や使用の意図を知りたい。また何故「温和」ではなく「穏和」なのか。それをスローガンで協調した理由を知りたい。それから「誇りを次代へつなぐ」とあるが、どんな誇りなのか、次代につなぐ意味は何なのかを知りたい。「奥ニセコ」「穏和」「誇り」についての説明を計画のなかに書き込んではどうだろうか。提案したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメント手続きは、可否を決定する投票とは異なるため、「賛否を問うものではありません」と記載しております。賛成意見、反対意見を記載していただくことは構いません。 ・ 今回の策定は、令和2年度に策定した計画の時点更新です。よって、令和2年度に策定した前期計画を引き継いでいることから、後期計画にも同様のスローガンとしています。スローガンについては、ニセコ町のキャッチと受け取られてしまいかねないため、奥ニセコ＝蘭越の位置付けとしています。よって、奥ニセコの表現を使うときには蘭越とセットとしています。穏和の説明については、奥ニセコという言葉の持つ「隠れ里」のイメージを「穏」の字にかけております。誇りとは、地域に住む人々が自らの町や地域に対して持つ愛着や誇りを指しております。
基本構想の第3章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想の第3章蘭越町の課題の項で、重点施策として実行計画に位置付けるポイントの5番目に「自然環境の保全」があげられている。どのような実行計画が考えられているのか期待しながら読み進めていったが、どこにも記載がなかった。「実行計画に位置付ける」としながら、位置付けていないのは何故なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実行計画の第2章におけるエコエネルギータウンの確立において、今後も自然環境や生態系とともに発展していくと記述しています。また、施策の方針として、地域環境に配慮したエコエネルギータウンとして、本町ならではの環境行政に取り組むこととして位置付けております。自然環境の保全に係る施策等については、具体的な取組の中で検討します。
2 基本構想の第5章	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう一つ自然環境に関わる部分について見ていく。基本構想の第5章まちづくりの基本目標の項だが、「SDGsとの整合性をとるものとします」と書かれている。また各章（実行計画の章番号）ごとに、関連SDGsという位置づけでアイコンが並んでいる。第2章住みよいまち、選ばれるまちづくりのための項（実行計画の章番号）に関連SDGsとして、14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう、が載っているが、その下の7つの項目のどれに該当するのかわからなかった。そこで実行計画の第2章住みよいまち、選ばれるまちづくりの項を読んでみた。2エコエネルギータウンの確立のところには14と15に二つのアイコンが載っていた。そして、そこには「…今後も豊かな自然環境や生態系とともに発展していくことを目指しています」、「自然環境や生態系を守りながら…」、「自然環境や生態系を保全するだけでなく…」と述べられていた。しかし自然環境や生態系を守る施策は書かれていなかった。海の豊かさを守ることと陸の豊かさを守るとは、蘭越町にとっても重要な課題であるはずだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海の豊かさや陸の豊かさを守ることの重要性は承知しており、エコエネルギータウンの確立における関連SDGsのアイコンについては、エコエネルギータウンの確立という広い観点において、関連されるアイコンを掲載しております。施策におきましては、具体的な取組の中で検討します。
(20, 21, 23, 33 ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蘭越町には環境基本条例と環境基本計画がある。どちらも今から20年以上前に作られたものだから、現在の状況に合わない部分があるかもしれない（特に環境基本計画）。だがそれらの理念を活かした形で、この実行計画を取り入れてはどうだろうか。提案したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境基本条例及び環境基本計画は、当町の自然環境の保全に関わるものであり、同理念におきましては、計画内において取り入れております。環境基本条例及び環境基本計画におきましては、条例等に関わってくる内容でもあるため、具体的な取組の中で検討します。
実行計画（基本施策編）第1章 (28, 30ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実行計画（基本施策編）の第1章新たな時代に適した行政体制づくりのために1自治基盤の構築の施策の内容のなかで、①人事管理の適正化について述べている。しかし女性の管理職への登用については書かれていない。能力ある女性の活躍の場を広げる努力を役場として行うべきである。ぜひ実行計画に位置付けて具体化してほしい。 また③情報発信・情報提供について述べられている。しかし情報収集については書かれていない町民からの情報収集についても書くべきではないか。とても大事なことだと思う。このパブリックコメントも情報収集の機会ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当町における人事管理の適正化については、女性の管理職登用を踏まえた上で前期計画から取り組んでおりますので、記載しておりません。 ・ 情報発信・情報提供は、町民から収集した情報も含まれます。よって、「本町の各種情報について」と記載しております。
基本構想第5章、まちづくりの基本目標の第9章 (25, 79ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想の第5章まちづくりの基本目標の第9章水の循環づくりのための項（実行計画の章番号）と実行計画（基本施策編）の第9章水の循環づくりのための項だが、最近近隣市町村において森林の開発により水源が汚染される懸念が報道されている。蘭越ではそういう恐れはないのか心配である。また蒸気噴出のようなこともある。実行計画に水源を守ることを加えてはどうだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画における上下水道の維持・管理には、上水道における水源の維持も含んでおります。